

**製品名: JNK1/2/3 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21196**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体                                  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,ICC/IF,ELISA,IP                               |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット                                       |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG,Kappa  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。               |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質        |
| 精製     | プロテイン A  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:2000-1:10000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW:48,53kD;Observed MW:48,53kD                                |

**抗原情報**

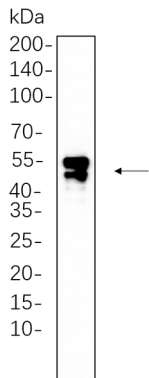
|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | MAPK8/9/10  |
| 別名           | MAPK8;JNK1;PRKM8;SAPK1;SAPK1C;Mitogen-activated protein kinase 8;MAP kinase 8;MAPK 8;JNK-46;Stress-activated protein kinase 1c;SAPK1c;Stress-activated protein kinase JNK1;c-Jun N-terminal kinase 1;MAPK9;JNK2;PRKM9;SAPK1A;Mi |
| 遺伝子 ID       | 5599;5601;5602  |
| SwissProt ID | P45983;P45984;P53779  |
| 免疫原          | -   |

**背景**

細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、MAPキナーゼファミリーのメンバーです。MAPキナーゼは、複数の生化学的シグナルの統合点として機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、様々な細胞プロセスに関与しています。このキナーゼは様々な細胞刺激によって活性化され、特定の転写因子を標的とすることで、細胞刺激に応答した前初期遺伝子発現を媒介します。腫瘍壊死因子 $\alpha$  (TNF- $\alpha$ ) によるこのキナーゼの活性化は、TNF- $\alpha$  誘導性アポトーシスに必要であることが分かっています。このキナーゼは紫外線誘導性アポトーシスにも関与しており、これはシトクロム C を介した細胞死経路に関連すると考えられています。この遺伝子のマウス対応遺伝子を用いた研究では、このキナーゼが T 細胞の増殖、アポトーシス、および分化において重要な役割を果たすことが示唆されています。いくつかの代替的な spl

## 研究分野

## 画像データ



Hela 細胞全細胞ライゼートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を JNK1/2/3 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロッティングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。